

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	(日常的な外出支援) 利用者が高齢になったり車椅子の方が大半を占めるようになり、外出が困難になっている。外出することでリフレッシュできるようにしたいが中々できない現状がある。	ご利用者様がグループホームでの生活を楽しめるよう、季節を感じて頂けるような催しや外出を行いたい。	①花見、外食、近隣への散歩、ご利用者様の馴染みの場所への外出を計画して行いたい。 ②大がかりな外出、行事にはご家族に協力して頂き、一緒に行きたい。(協力できるご家族様をお願いしていく) ③こまめな外気浴を行い気分転換を図る。	6ヶ月
2	2	(事業所と地域の付き合い) 利用者が地域と繋がりながら生活できているか。職員が地区の行事に参加したり、地域主催の行事に利用者と共に参加することはあっても、利用者様の生活してきた地域との関係は途切れてしまっている。	地域密着型施設としての役割を果たすため、利用者様と共に職員も地区の行事や公民館活動等に参加させて頂き、地域とのつながりを持ち生活できるよう支援していきたい。	①事業所の職員は地区の行事があれば積極的に参加する。(無理のない範囲で) ②ご家族様に地区の行事に参加して良いか確認して地区の行事に参加する機会を設ける。 ③グループホーム主催の行事を開催し、地域の方々に来所して頂けるよう工夫していく。	12ヶ月
3	11	(運営に関する職員意見の反映) 月に一度職員全体会で業務連絡、伝達研修、利用者の現状報告、カンファレンスなどを行い職員からの意見は積極的に取り入れて運営に反映させているが、形として表れにくい。	月一度の職員全体会だけでなく、細かな問題が発生した時には状況に応じて臨時カンファレンスを行い、職員一人ひとりの意見を聞きながらグループホームの運営に反映させていく。	①職員全体会、朝のミーティング時には積極的な意見交換を行い、運営に活かします。(月一回のミーティングはフロアで行い 全員参加とします) ②職員一人ひとりの個別の目標設定を行い働き甲斐のある職場作りを目指します。	12ヶ月
4	10	(運営に関する利用者家族意見の反映) 頻回に面会にお見えになるご家族様からはご意見やご要望をお聞きすることがあるが、面会が少ないご家族様からのご意見やご要望をお聞きすることが少ない。	グループホームの運営に関しては、ご家族様の意見を取り入れる機会を出来るだけ多く設ける。頂いたご意見に関しては改善できる点は速やかに改善していく。	①グループホーム便りを年四回発行し、ご利用者様の近況をお伝えしていく。その際はアンケート用紙を同封し自由にご意見を頂けるようにする。	6ヶ月
5	52	(意心地の良い空間づくり) 玄関、トイレ、フロア等共有スペースは職員がこまめに掃除を行い、不快な環境が無いように工夫しているが、利用者様の介護度が上がり、生活の動線が変化している。利用者様が居心地良く過ごせる空間作りがしにくい状況である。	共用生活空間は居心地良く生活出来る様に音、光、匂いなどに気を付けると共に利用者様一人ひとりの価値観や感覚を大切にしながら居心地の空間作りを提供します。	①意心地の良い空間作りの為に共有空間は心地よい香りで生活出来る様工夫する。(ゴミだし、匂いを無くすための工夫: 排泄環境等) ②ご家族様床間わりを大切に、日頃の状況を主任中心に報告し、面会時には家族だんらんのひとときが過ごせる様交流室などでゆっくり面会して頂く。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。